

「知る」

2019 年も終わろうとしている時、疫病が勃発、世界に広がる。100 年に一度は起こるらしい。人々は命を奪われ、国は行動を規制する。いつウイルスに感染するか不安な毎日。戦時中のような。戦争じゃないから爆弾は落ちてこない。静かにウイルスが広がって人が殺される。ステイホーム。ステイ防空壕。

1945 年も終わろうとしている時、アメリカの爆撃機がやってきて落とす焼夷弾にいつ当たるか不安な毎日。やがてそれは来なくなって、兵隊さんがやって来た。幼かった私には、兵隊さんも怖かった。鬼のように教えられていた。近づかない事。一人の兵隊さんと出くわしてしまう。すると、にっこりして、チョコレートくれた。初めて出会ったアメリカの人、初めて食べたチョコレート。

1961 年も終わろうとしている時、徳島市とアメリカはミシガン州にあるサギノー市と姉妹都市となる。市長さんの往来があり、市民たちも。高校、大学が姉妹校になり、学生や先生の交換があった。1964 年の春、私は徳島市立高校の英語教諭になっていて、1966～7 年 Saginaw に交換教師として滞在。36 の小学校に一週間ずつ訪れて日本を語った。初めて日本人と会う子供達の目は、不思議さと、疑いで輝いていた。だんだんそれは親しみと変わっていった。「僕んちだって、家に入るとき、靴脱ぐ。カーペット汚す時はね」。

考える。平和になる。病気は治す。皆で考える。それぞれの人がそれぞれの立場に立って考える。お互いとその立場を理解して。相手を理解することから問題の解決が出る。喧嘩の相手を理解する。受け入れる。友達になって一緒に考える。これを教えてくれたのは、私にとっては、国際交流。徳島市国際交流協会の支えがあってこそ。有難う TIA。

宮谷 弘子

Fuerbringer School, September, '66



How are my fathers and mothers
and people in Saginaw ?

North School, May, '86



Saginaw Country Club, May, '86

